

情報提供日：令和6年5月27日

## 約450年続く伝統芸能 高さ14mでの妙技。今年は7/28(日)開催！ 国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞(つくまい)」練習開始(6/2～)

龍ヶ崎市撞舞保存会(事務局：龍ヶ崎市商工観光課)では、本市の夏の風物詩である国選択・県指定無形民俗文化財の「撞舞(つくまい)」を令和6年7月28日(日)に開催することを決定しましたので、お知らせします。

あわせて、本番に向けた練習を令和6年6月2日(日)午後5時頃から開始します。練習は6月2日(日)以降、毎週日曜日、午後6時頃から龍ヶ崎市役所南側駐車場にて行われます(初日は撞柱設置作業後、練習を開始します。詳細は下記参照)。

今年も、2人体制で撞舞を執り行う予定で準備を進めています。本番に向けた練習を、昨年に続き舞男を務める予定の大石 浩司(おおいし こうじ)さんと新たな舞男候補が行う予定です。なお、今年の舞男は練習状況により、最終決定がなされる見込みとなっています。

ぜひ、今年も練習からの応援、取材をよろしくお願いいたします。

### ■撞舞の概要

約450年、地域の力により受け継がれ、龍ヶ崎市の夏の風物詩である国選択・県指定無形民俗文化財。高さ14メートルの龍を象徴する柱「撞柱(つくばしら)」に、笛や太鼓の囃子に合わせて、暗緑色の「たっつけ袴」に雨蛙の面をかぶった「舞男」と呼ばれる演者が登り、柱の頂上で弓を射ったり逆立ちしたり、さまざまな妙技を披露する伝統芸能です。もともとは、雨乞いや五穀豊穡、疫病よけの意味があるといわれています。



▲昨年行われた撞舞 舞男が矢を放つ

#### <令和6年の撞舞>

【日時】令和6年7月28日(日) 午後6時頃から

【会場】根町・撞舞通り(所在地：龍ヶ崎市3429番3地先) ※市役所駐車場をご利用ください

■練習初日 【日時】令和6年6月2日(日) 午後1時30分頃から 練習用撞柱設置  
スケジュール 午後5時頃から 練習開始

【場所】龍ヶ崎市役所南側駐車場(所在地：龍ヶ崎市3710)

※ 6月2日が荒天の場合は、翌3日(月)に順延予定(当日午前中態度決定)

※ 6月2日の練習開始時間は柱の設置状況により、時間が前後します

※ 天候等により、練習が中止になる場合があります

初日以降の練習は、7月21日までの毎週日曜日、午後6時頃から行う予定です

担当課

龍ヶ崎市 市民経済部 商工観光課 商工観光グループ  
担当者：名島・木下(なじま・きのした)  
連絡先：0297-60-1536(直通)

# 撞舞会場・練習場所のご案内

## 【撞舞会場】7月28日(日)

根町・撞舞通り(所在地:龍ヶ崎市3429番3地先)

龍ヶ崎市役所から徒歩約8分(700m)

関東鉄道竜ヶ崎線「竜ヶ崎駅」から徒歩約12分(1km)

## 【練習場所】6月2日(日)以降、7月21日までの毎週日曜日

龍ヶ崎市役所南側駐車場(所在地:龍ヶ崎市3710)

